

早稲田大学 法学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数4題、小問数40問は例年通り。記述問題が17問、選択問題23問(内訳は正誤11問・語句選択12問)。年代配列問題は姿を消した。例年通り、記述問題が全体の半分近くを占める。2つ選ぶ形式の選択問題は2016年度なし、2017年度4問、今年度7問と増加している。時代別では古代、中世、明治時代、戦後の4題で、織豊政権・江戸時代・大正時代・昭和戦前からの出題はなかった。分野別では半分が政治史、あと半分は社会経済史・外交史・文化史からほぼ均等出題。第Ⅲ問は例年同様、未見史料を用いての出題であった。試験時間60分は適当だろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	7世紀の歴史	問1:う「法興寺」は飛鳥寺ともいう。問2:「山背大兄王」は正確な漢字を書こう。問3:え「板蓋宮」(いたぶきのみや)は飛鳥に所在する。問4:い「孝徳天皇」の次は斉明天皇(皇極天皇が重祚)。問5:お-誤り。「新羅」ではなく百済。問6:「大友皇子」は天智天皇の子。問7:い-正しい。あ・お.天智天皇、う.持統天皇、え.元明・元正天皇。問8:あ「草壁皇子」の母は持統天皇。問9:「藤原不比等」。問10:「刑部親王」。	やや易
II	中世の外交	問1:「海禁」は明の外交政策。問2:「尚巴志」。尚寧・尚泰との区別をつけておこう。問3:う「足利義持」が中断。その後、足利義教が再開。問4:難問。「万国津梁」(しんりょう)。問5:お「首里」。万国津梁之鐘は首里城正殿に架けられた。問6:あ・え-誤り。あ「キリスト教の布教」と海外貿易拡大が主な目的、え「ポルトガル人」の方が先。問7:え「銀」は主な輸出品。問8:い「島津貴久」はやや難。問9:「十三湊」は青森県に所在。問10:あ-誤り。「蠣崎氏」ではなく安藤(安東)氏。	標準
III	明治時代の政治 <史料>	問1:「明六社」は1873年結成、1875.11解散。問2:「自由之理」。中村正直にはスマイルズの著作を翻訳した『西国立志編』もある。問3:「文明論之概略」を1875年刊行から導くのは難問。福沢諭吉には他に『西洋事情』『学問のすゝめ』がある。問4:い・お-正しい。あ「1874年」ではなく1875年、う・え「愛国社」の説明ではなく立志社の説明なのでそれぞれ誤り。問5:「河野広中」。福島事件の時の県令は三島通庸。問6:やや難。あ-正しい。愛国社第4回大会で国会期成同盟が結成された。い「板垣退助」ではなく片岡健吉・河野広中、う「受理した」ではなく拒否した、え「集会条例を改正して」ではなく集会条例を定めた、お「政党結成を決定した」ではなく運動方針について意見がまとまらなかった、なのでそれぞれ誤り。問7:やや難。う-正しい。あ「自由党」結成は「国会開設の時期が決まったため」ではない、い「自由党」の説明ではなく立憲改進黨の説明になっている、え「存続した」ではなく国会期成同盟は自由党に発展的解消した、お「友好関係」ではなく対立関係なのでそれぞれ誤り。問8:「後藤象二郎」は板垣退助とともに洋行した。問9:やや難。え・お-正しい。え.後藤が黒田清隆内閣の通信大臣となった。あ「憲法制定」ではなく国会開設、い「この年(=1888年)」ではなく1887年、う「西日本」ではなく全国なのでそれぞれ誤り。問10:う・お-誤り。う「黒田清隆内閣」ではなく第1次山形有朋内閣、お「解散」ではなく予算成立なのでそれぞれ誤り。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
IV	戦後の高度経済成長	問1：う-誤り。韓国政府が朝鮮にある唯一の合法的な政府であると認めたので誤り。問2：い・お-誤り。い-1952年、お-1978年。あ・う-1956年、え-1955年。問3：難問。い・う-誤り。い-戦前の電力国家管理法(1938年)に基づく説明、う「技術革新をほぼ自力で達成」ではなく外国からの技術導入も進んだのでそれぞれ誤り。問4：え「西ドイツ」はやや難。問5：「終身雇用」など日本の経営については頻出である。問6：う「使い捨てカメラ」は1980年代である。問7：「水俣病」など四大公害訴訟は1973年までにいずれも被害者側の勝訴に終わっている。問8：「美濃部亮吉」は美濃部達吉の長男。問9：「公害対策」。公害対策基本法の制定は1967年。問10：い・え-正しい。「中国訪問の発表」も「金とドルの交換停止の発表」もともに1971年の事項。	標準

[総合コメント]

全体的に標準～やや難のレベルである。記述問題が多いのが本学部の特徴であるが、難しい漢字を書かせるわけではない。そのため、基本語句の漢字のミスに気をつけることが大事となる。第Ⅲ問の未見史料問題は定番であり、昨年度は標準レベルだったが、今年度はやや難のレベル。傾向を昨年度と比べると、近代からの出題が大正時代から明治時代が変わったこと、社会経済史からの出題が減ったこと、2つ選ぶ形式の問題が増加したこと、年代配列問題が消えたことがあげられる。大きく見ると、出題形式、難易度など例年変化がない。試験時間60分は見直しの余裕があるだろう。